

エホバに助けていただき、喜びつつ忍耐する

「エホバはあなたたちに情けを掛けようと辛抱強く待っており、憐れみを示そうと立ち上がる」
。 [イザヤ 30:18](#) それでも、エホバはあなたたちに情けを掛けようと辛抱強く待って(*と待ち続けて)おり、憐れみを示そうと立ち上がる。エホバは公正の神だからである。この方を待ち続ける(*一心に待つ)人は皆、幸せだ。

3番の歌 私たちの力、希望、確信

何を学ぶか*エホバは、ご自分に仕える人たちが毎日のいろいろな問題を喜びつつ忍耐できるよう、どのように助けてくださるでしょうか。この記事では、[イザヤ 30章](#)から3つの点を考えます。そうすることによって、エホバに祈ることや聖書を学ぶこと、そして現在また将来にエホバがしてください素晴らしいことについてじっくり考えるこの大切さが学べるでしょう。

1-2. (ア) この記事ではどんなことを考えますか。 (イ) エホバが私たちをぜひとも助けたいと思っていることは、どんなことから分かりますか。

(ア) エホバは、私たちが毎日のいろいろな問題を乗り越え、喜んでエホバに仕えることができるよう助けてくださいます。どのようにそうしてくださるのでしょうか。私たちはエホバからの助けを十分に受けるためにどんなことができますか。この記事ではこうした点を取り上げます。とはいって、エホバは私たちのことを本当に助けたいと思ってくれているのでしょうか。まずはその点を考えてみましょう。

2 (イ) その答えは、「ヘブライ人のクリスチャンへの手紙」の中にある、パウロの言葉から分かります。パウロはこう書きました。「エホバは私を助けてくださる。私は恐れない。人が私に何を行えるだろう」。 (←[ヘブ 13:6](#)) 参考文献によると、ここで「助けてくださる」と訳されている語には、助けを求める人のもとに駆け付けるという意味合いがあります。エホバが困っている人を助けるために駆け付ける様子を想像してみてください。確かにパウロのこの言葉から、エホバが私たちをぜひとも助けたいと思っていることがよく分かります。エホバがそばにいてくださるなら、私たちはどんな問題も喜びつつ忍耐することができるのです。

3. エホバは、私たちが喜びつつ問題を忍耐できるよう、どんな3つのことを行ってくださいますか。

3 エホバは、私たちが喜びつつ問題を忍耐できるように、どのように助けてくださるのでしょうか。その点を知るために、イザヤ書を調べてみましょう。どうしてイザヤ書なのでしょうか。イザヤが聖なる力に導かれて書いた預言の多くは、現代エホバに仕える人たちに当てはまるからです。また、イザヤは私たちにとって分かりやすい言葉でエホバについて説明しているからです。では、[イザヤ 30章](#)に注目してみましょう。その中でイザヤは、イメージしやすい言葉を使って、エホバがご自分に仕える人たちをどのように助けるかを述べています。では、3つの点を考えて

みましょう。 (1) 私たちの祈りをよく聞いて、祈りに答えること、 (2) 導きを与えること、
(3) 私たちのために、今まで将来に素晴らしいことを行うことです。

エホバは私たちの祈りを聞いてくださる

4. (ア) エホバはイザヤの時代のユダヤ人について何と言いましたか。エホバはどんなことが起きるままにしましたか。

(イ) エホバは忠実な人たちにどんな希望を与えましたか。 (イザヤ 30:18, 19)

4 (ア) イザヤ 30 章の初めの部分で、エホバはユダヤ人のことを「罪を重ねる」「強情な子たち」と言っています。そして、「彼らは反逆的な民、……エホバの律法を聞こうとしない子たちである」とも言っています。 (イザヤ 30:1) エホバはこう宣言する。「強情な子たちには災いがある。彼らは、私が立てたのではない計画を実行し、私の聖なる力に導かれることなく同盟を結び(d*献酒を注ぎ/契約を結ぶことを指していると考えられる)、罪を重ねる、9 彼らは反逆的な民、人を欺く子たち、エホバの律法(*指示)を聞こうとしない子たちである) ユダヤ人はエホバの律法を聞こうとしなかつたので、イザヤは、エホバは彼らを苦しい目に遭うままにする、と予告していました。 (イザヤ 30:5) 皆が、全く役に立たない民のせいで恥をかく。その民は何の助けにも、ためにもならず、恥と不名誉をもたらすだけである、17 1人の威嚇で 1000 人が震え、5 人の威嚇であなたたちは逃げる。山頂の柱のように、丘の上の旗印(*合図のさお)のように見えるほど、わずかな人しか残らない。エレ 25:8-11 それで、大軍を率いるエホバはこう言っています。『「あなたたちが私の言葉に従わないので、9 私は北の全ての部族を呼び寄せる」と、エホバは宣言する。「私に仕えるバビロンのネブカドネザル王を呼び寄せ、彼らにこの土地と住民と周囲の国々を攻めさせる。それらを滅ぼし尽くし、恐怖の光景に変え、ずっと荒廃したままにし、人々がそれらに向かって口笛を吹くようとする。10 人々の間で、歓喜や祝福の声、花婿や花嫁の声がもはや聞かれないようにし、ひき臼の音とランプの光を絶やす。11 この土地全体は荒れ果て、恐怖の光景となり、これらの国の人々は70年の間バビロンの王に仕えなければならぬ』』) そしてその言葉の通り、彼らはバビロンに捕囚にされました。 (イ) とはいえ、中にはエホバに忠実な人たちもいました。イザヤはそうした人たちに希望となるメッセージを伝えました。エホバがやがて彼らをエルサレムに戻らせてくださるというメッセージです。 (イザヤ 30:18, 19) それでも、エホバはあなたたちに情けを掛けようと辛抱強く待って(*と待ち続けて)おり、憐れみを示そうと立ち上がる。エホバは公正の神だからである。この方を待ち続ける(*一心に待つ)人は皆、幸せだ。19 民がシオンに、エルサレムに住む時、あなたは決して泣かない。神は助けを求めるあなたの叫び声を聞くと、必ず情けを掛ける。聞いてすぐにあなたに答えてくださるを読む。) その言葉の通り、エホバはユダヤ人をバビロンでの捕囚から自由にしました。それでも、この希望の言葉が実現するには、かなりの時間がかかりました。「エホバはあなたたちに情けを掛けようと辛抱強く待って[いる]」という表現から、それが分かります。バビロンで捕囚になってから70年後、彼らはようやくエルサレムに戻ることができました。 (イザヤ 10:21) 残りの者だけが帰る。ヤコブの残りの者が、力強い神のもとに帰る。エレ 29:10 「エホバはこう言う。『バビロンで70年が満了したら、私はあなたたちに注意を向ける。私の約束を果たし、あなたたちをこの場所に連れ戻す』) 人々はバビロンに捕囚にされた時には悲しみの涙を流しましたが、エルサレムに戻った時には喜びの涙を流しました。

5. イザヤ 30 章 19 節からどんなことが分かりますか。

5 イザヤの次の言葉について考えると、慰められます。「神は助けを求めるあなたの叫び声を聞くと、必ず情けを掛ける」。（イザ 30:19 民がシオンに、エルサレムに住む時、あなたは決して泣かない。神は助けを求めるあなたの叫び声を聞くと、必ず情けを掛ける。聞いてすぐにあなたに答えてくださる）この言葉から、私たちが助けを求める時、エホバがよく聞いてくださることが分かります。また、エホバは私たちの祈りにすぐに答えてくださいます。イザヤが「神は……聞いてすぐにあなたに答えてくださる」と述べている通りです。こうした言葉から、お父さんエホバが私たちをぜひとも助けたいと思っていることが分かります。ですから、私たちは喜びつつ問題を忍耐することができます。

6. エホバが一人一人の祈りに耳を傾けてくださることは、イザヤのどんな言葉から分かりますか。

6 この聖句から、祈りについてほかにもどんなことが学べるでしょうか。エホバが私たち一人一人の祈りにしっかり耳を傾けてくださるということです。どうしてそう言えるでしょうか。イザヤ 30章の前半で、エホバは「あなたたち」という表現を使って民全体に語り掛けています。でも19節民がシオンに、エルサレムに住む時、あなたは決して泣かない。神は助けを求めるあなたの叫び声を聞くと、必ず情けを掛ける。聞いてすぐにあなたに答えてくださるでは、「あなた」という表現を使って一人一人に語り掛け、「あなたは決して泣かない」、「あなたの叫び声を聞くと、必ず情けを掛ける」、「あなたに答えてくださる」と言っています。愛情深いお父さんは、元気がない息子や娘に対して、「どうして兄さんや姉さんのように強くなれないんだ」と言ったりはしません。エホバも私たちに対してそんなことは言いません。一人一人のことを大切にし、私たちの祈りにしっかり耳を傾けてくださるのです。（詩 116:1 私はエホバを愛する。私の声を(if*私は愛する。エホバは私の声を), 助けを求める願いを聞いてくださるから。イザ 57:15 永遠に生きて(*住んで)いて聖なる名を持つ、至高の方はこう言う。「私は高く聖なる場所に住んでいるが、打ちのめされた謙遜な人たちと共にいる。謙遜な人たちを元気づけ、打ちのめされた人たちの心を力づけるために」）



「[エホバ]を休ませてはならない」というイザヤの言葉には、どんな意味があるか。（7節を参照。）

7. イザヤとイエスは、繰り返し祈ることの大切さをどのように示しましたか。

7 私たちが自分の悩みをエホバに打ち明ける時、エホバは力を与えて問題を忍耐できるように助けてくれるかもしれません。とはいって、なかなか問題が解決しないように感じる時には、忍耐する力を与えてください、と何度もエホバに祈る必要があるでしょう。エホバもそうするよう勧めています。そのことについてイザヤは、「[エホバ]を休ませてはならない」と書きました。（イ

ザ 62:7 神に祈り続けなさい(*神を休ませてはならない)。神がエルサレムをしっかりと据え、世界の称賛の的とするまで、脚注) これはどういう意味でしょうか。あたかもエホバが休めないと感じるほどまでに、何度も何度も祈る必要があるということです。イザヤのこの言葉について考えると、イエスが語った祈りについての例えを思い出すかもしれません。それは、ルカ 11 章 8-10 あなたたちに言いますが、その人は、友人だという理由で起きてきて何かを与えることはないとしても、しつこく頼むなら、必ず起きてきて何でも必要とする物を与えてくれます。9 それで、求め続けなさい。そうすれば与えられます。探し続けなさい。そうすれば見つかります。たたき続けなさい。そうすれば開かれます。10 誰でも求めている人は受け、探している人は見つけ、たたいている人には開かれます。13 節 それで、あなたたちが罪深い人間でありながら、子供に良い贈り物を与えることを心得ているのであれば、まして天の父は、ご自分に求めている人に聖なる力を与えてくださるの 있습니다。そこでイエスは、「しつこく」祈り、聖なる力を「求め続けなさい」と教えました。また私たちは、良い決定ができるよう導いてください、とエホバにお願いすることもできます。

エホバは私たちを導いてくださる

8. イザヤ 30 章 20, 21 節の言葉は、古代にどのように実現しましたか。

8 イザヤ 30:20, 21 エホバはあなたたちに苦難というパンを食べさせ、圧迫という水を飲ませる。とはいって、あなたの偉大な教師はもはや姿を隠さず、あなたは自分の目で偉大な教師を見る。21 右や左にそれそうになる時には、後ろからあなたの耳に、「これが道である。この道を歩みなさい」という言葉が聞こえるを読む。エルサレムがバビロニア軍に攻囲されていた1年半の間、人々は非常につらい経験をたくさんしました。それはまるで、パンや水のように当たり前のものとなっていたのです。でもエホバは、イザヤ 30 章 20, 21 節で、ユダヤ人にある約束をしました。彼らが悔い改めて生き方を変えるなら救い出す、という約束です。イザヤはエホバのことを「偉大な教師」と表現し、エホバがご自分をどのように崇拝すべきかを教えてくださると述べました。この言葉は、ユダヤ人がバビロンでの捕囚から自由になった時に実現しました。エホバは偉大な教師としてユダヤ人を導き、そのおかげで彼らは清い崇拝を回復させることができました。エホバが偉大な教師として私たちのことも導いてくださるのは、本当に素晴らしいことです。

9. 現代、エホバはどのように私たちを導いてくださっていますか。

9 イザヤはこの部分で、私たちのことを生徒に例えています。エホバから2つの方法①②で教わる生徒です。①まず、イザヤは「あなたは自分の目で偉大な教師を見る」と言っています。ここでは、教師であるエホバが生徒の前に立っているかのように描かれています。エホバから教えていただけるというのは、本当に素晴らしいことではないでしょうか。エホバは組織を通してはっきりとした指示を与えてくれています。そのことに本当に感謝できます。私たちは、集会や大会で、また出版物やJW Broadcasting®などを通して教えてもらうことができています。そのおかげで、喜びつつ問題を忍耐することができます。

10. どうすれば「後ろから」の声を聞くことができますか。

10 ②イザヤは、エホバが教えてくださるもう1つの方法について、こう言っています。「後ろからあなたの耳に……言葉が聞こえる」。ここでは、エホバが、生徒の後ろを歩きながら気を配り、行くべき道を教える先生に例えられています。現代の私たちも、後ろから語り掛けるエホバの声を聞くことができます。どういうことでしょうか。神の言葉が収められている聖書は、はるか昔に書き終えられました。ですから、私たちは聖書を読む時、いわば後ろから語り掛けるエホバの声を聞いていることになるのです。（イザ 51:4 私の民よ、私に注意を払いなさい。私の国民よ、私に耳を向けなさい。私は律法を定め、私の法規(*公正)をさまざまな民の光とする）

11. 喜びつつ奉仕を続けていくためには、どんなことが欠かせませんか。なぜですか。

11 エホバが聖書や組織を通して与えてくださっている導きから十分に恩恵を受けるには、どうしたらよいでしょうか。イザヤが書いた2つのフレーズに注目してみましょう。「これが道である」という言葉と、「この道を歩みなさい」という言葉です。（イザ 30:21 右や左にそれそうになる時には、後ろからあなたの耳に、「これが道である。この道を歩みなさい」という言葉が聞こえ）ここから、「道」を知っているだけでなく、その道を「歩[む]」必要があるということが分かります。私たちは、聖書や組織を通して、エホバがどんなことを願っているかを学ぶことができます。そして、学んだことをどのように実践できるかも知ることができます。喜びつつエホバへの奉仕を続けていくためには、学ぶことと実践することの両方が欠かせません。こうしたことを行うなら、エホバは私たちのために素晴らしいことを行ってくださいます。

エホバは私たちのために素晴らしいことをしてくださる

12. イザヤ 30 章 23-26 節によると、エホバはご自分に仕える人たちにどんな素晴らしいことを行ってくださいますか。

12 イザヤ 30:23-26 神はあなたが地面にまく種のために雨を降らせてください、地面から栄養豊かな食物が豊富に生み出されるようになる。その日、あなたの家畜は広い牧草地で草を食べる。24 地面を耕す牛やロバは、シャベルとフォークでえり分けられて（脱穀したものを放り上げ、もみ殻を風で吹き分ける作業）酸葉で味付けされた飼い葉を食べる。25 幾つもの塔が倒れ、大勢が殺される日に、全ての高い山や丘の上に川や水路ができる。26 満月の光は太陽の光のようになり、太陽の光は7倍強くなり、7日分の光のようになる。エホバがご自分の民のけが(*崩壊/裂け目)を包み、自ら打った民の重い傷を癒やす日に、そのようになるを読む。この言葉は、バビロンでの捕囚から自由になってイスラエルに戻ったユダヤ人にどのように実現したでしょうか。エホバは彼らに、生きていくため、またご自分に仕えるために必要なものを豊かに与えました。例えば、食べ物を十分に与えました。でもそれだけでなく、ご自分との絆を強めることができるように助け、清い崇拝がだんだんと回復していくようにしました。ユダヤ人は、それまでに経験したことがないほど、エホバからたくさん良いものを受けました。そして、イザヤ 30 章 26 節にある通り、エホバはあたかも光を照らすかのようにして、ご自分の言葉をいっそうよく理解できるようにも助けました。（イザ 60:2 間が地上を覆い、濃い暗がりが国々を包む。しかし、エホバがあなたを照らし、その光があなたの上に現れる）このようにして、エホバがご自分に仕える者たちにたくさんの素晴らしいことを行ったので、彼らは「心が晴れやか」になり、喜びと自信を持ってエホバに仕えることができました。（イザ 65:14 私に仕える者たちは心が晴れやか(*良い状態)なので喜んで叫ぶが、あなたたちは心が痛むので叫び声を上げ、意気をくじかれて泣きわめく。）

13. 清い崇拜の回復についての預言は、現代どのように実現していますか。

13 清い崇拜の回復についての預言は、現代でも確かに実現しています。どのようにでしょうか。
1919年以降、大勢の人たちが大いなるバビロン（世界を惑わしている間違った宗教全体）への捕
らわれから自由になってきました。そして、比喩的なパラダイスへと導かれています。これは、
イスラエルの約束の地よりもはるかに素晴らしいものです。（イザ 51:3 エホバはシオンを慰める。そ
の廢墟全てに安らぎをもたらし、荒野をエデンのようにし、砂漠平原をエホバの園のようにする。そこには喜びと
楽しみがあり、感謝の声と美しい歌が響き渡る；66:8）このようなことを聞いたことがあるか。このような事柄を見
たことがあるか。土地が1日で生み出されるだろうか。国民が一斉に生まれるだろうか。しかし、シオンは産気づ
いた途端に子たちを産んだ）では、比喩的なパラダイスとはいったい何でしょうか。

14. 比喩的なパラダイスとは何ですか。誰がそこに入っていますか。（「語句の説明」を参照。）

14 1919年以降、天に行くよう選ばれた人たちはこの比喩的なパラダイスに入っています。*語句の
説明：「比喩的なパラダイス」とは、一致のうちに安心してエホバを崇拜できる環境のことです。その中で私たちは
、どのようにエホバに仕えるべきかについて正しい情報をたくさん学ぶことができます。また、王国の良い知らせに
について伝える仕事をたくさん行って、充実感を味わうこともできます。さらに、エホバと親しくなり、愛する仲間と
仲良く過ごすこともできます。こうした兄弟姉妹たちは、私たちが喜びつつ毎日の問題を忍耐できるよう助けてくれ
ます。比喩的なパラダイスに入るためには、ふさわしい方法でエホバを崇拜し、エホバに倣うよう精いっぱい努力す
る必要があります。やがて、地上で永遠に生きる希望を持つ「ほかの羊」もそこに加わり、エホバ
からたくさんの良いものを受けました。（ヨハ 10:16 私にはほかの羊がいますが、この囲いのもので
はありません。私はその羊たちも連れてこなければならず、それらも私の声を聞きます。こうして、1つの群れ、1
人の羊飼いとなります。イザ 25:6 大軍を率いるエホバはこの山で全ての人々のために、豪華な料理の宴を、上等
の(*おりの上に寝かせられた)ぶどう酒の宴を催す。骨髓をふんだんに使った豪華な料理の宴、こされた上等のぶど
う酒の宴である；65:13 そのため、主権者である主エホバはこう言う「**私に仕える者たちは食べるが、あなたたちは**
食べる。私に仕える者たちは飲むが、あなたたちは喉が渴く。私に仕える者たちは喜ぶが、あなたたちは恥をかく

15. 現代、比喩的なパラダイスはどこにありますか。

15 現代、比喩的なパラダイスはどこにあるのでしょうか。エホバに仕えている人たちは、世界中
にいます。ですから、比喩的なパラダイスも世界の全体に広がっているのです。それで、私たちは
はどこに住んでいるとしても、ふさわしい仕方でエホバに熱心に仕えているなら、比喩的なパラ
ダイスにいることになります。



比喩的なパラダイスの美しさに貢献するために、私たち一人一人には何ができるか。 (16-17節を参照。)

16. 比喩的なパラダイスの美しさを見失わないために、どんなことができますか。

16 比喩的なパラダイスにとどまるためには、世界中に広がる会衆への感謝を深めることが特に必要です。そのために何ができるでしょうか。兄弟姉妹の欠点ではなく、良いところに注目することです。 (ヨハ 17:20, 21 私は、この人たちだけでなく、彼らの言葉によって私に信仰を持つ人々についてもお願いします。 21 それは、父よ、あなたと私が結び付いているように、彼ら全員が一つになるためです。また、彼らも私たちと結び付いているようにしてください。あなたが私を遣わされたことを世の人々が信じるためです) これが大切なのはなぜでしょうか。例えで考えてみましょう。美しい公園や庭園には、いろいろな種類の木が植えられています。同じように、会衆にもいろいろな人がいて、比喩的なパラダイスを美しくしています。 (イザ 44:4 彼らは青草の中から伸び出るかのように、川のほとりのポプラのように育つ: 61:3 シオンのことで嘆き悲しんでいる人たちに、灰の代わりに頭飾りを、悲しみの代わりに歓喜の油を、落胆の代わりに賛美の衣服を与える。彼らは正義の大木と呼ばれる。エホバがご自分の栄光の(*ご自分を美しくする)ために植えた木々である) 私たちは、一本一本の“木”にある傷ではなく、“森全体”的な美しさに注目する必要があります。自己や仲間の不完全さのせいで、一致した会衆の美しさが見えなくなってしまうようなことがないようにしましょう。

17. 会衆の一致に貢献するために、私たち一人一人には何ができますか。

17 この一致に貢献するために、私たち一人一人には何ができるでしょうか。平和をつくる人になることです。 (マタ 5:9 平和をつくる人たちは幸福です。神の子と呼ばれるからです。ロマ 12:18 できる限りのことをして、どんな人とも平和な関係でいるようにしましょう) 私たちは、兄弟姉妹とさらに平和に過ごせるよう進んで努力するなら、比喩的なパラダイスをいっそう美しいところにすることができます。こうした兄弟姉妹はエホバが引き寄せた人である、ということをぜひ忘れないようにしましょう。 (ヨハ 6:44 私を遣わした父が引き寄せてくださらない限り、誰も私のもとに来ることはできません。私はその人を終わりの日に復活させます) エホバが大切に思っている兄弟姉妹と仲良くして絆を強めるよう努力するなら、エホバは大いに喜んでくださるに違いありません。 (イザ 26:3 あなたに全く頼る(if*考えが揺れ動かない)人たちを、あなたは守り、絶え間ない平和を与えます。彼らがあなたを信頼するからです。ハガ 2:7 『また、私はあらゆる国を振り動かす。あらゆる国の貴重な(*好ましい)ものが入ってくる。私はこの家を栄光で満たす』と、大軍を率いるエホバは言う)

18. どんなことをじっくり考えるとよいですか。なぜですか。

18 エホバは、ご自分に仕える人たちに素晴らしいことをたくさん行ってくださっています。では、私たちはどうすればその恩恵を十分に受けられるでしょうか。聖書や出版物を学び、じっくり考えることです。そうするなら、クリスチャンとしての内面を磨くことができ、それによって、会衆で「兄弟愛」や「優しい愛情を示し合い」たいという気持ちがいっそう強まるでしょう。（[ロマ 12:10](#) 兄弟愛を抱いて、優しい愛情を示し合いましょう。自分の方から進んで人を敬ってください）また、エホバが今行ってくださっている良いことについてじっくり考えるなら、エホバとの絆が強まります。そして、エホバが将来行うと約束してくださっていることについてじっくり考えると、エホバにいつまでも仕えていくという希望をいつもはっきりと思い描くことができます。こうしたこと全ては、私たちが喜びつつエホバに仕える助けとなります。

最後まで忍耐する

19. (ア) [イザヤ 30 章 18 節](#)からどんなことが分かりますか。 (イ) 喜びつつエホバへの奉仕を続けていく上で、どんなことが助けとなりますか。

19 (ア) エホバは、私たちのために「立ち上がり」り、この邪悪な世界を終わらせてくださいます。 ([イザ 30:18](#) それでも、エホバはあなたたちに情けを掛けようと辛抱強く待って(*と待ち続けて)おり、憐れみを示そうと立ち上がる。エホバは公正の神だからである。この方を待ち続ける(*一心に待つ)人は皆、幸せだ) エホバは「公正の神」なので、サタンの世界が必要以上に長く続くことを決して許しません。（[イザ 25:9](#) その日、彼らはこう言う。「これが私たちの神だ！希望を抱いてこの方を待ってきた私たちを、神は救ってくださる。これがエホバだ！私たちは希望を抱いてこの方を待ってきた。歓喜し、神による救いを喜ぼう」） 私たちはそのことをよく知っているので、エホバが救い出してくださるのを辛抱強く待ちます。 (イ) では、それまでの間、どんなことができるでしょうか。1 祈りの機会を大切にし、2 聖書を学んで当てはめ、3 エホバが私たちのためにしてくださっている良いことについてじっくり考えることです。こうしたことを行っていくなら、喜びつつエホバへの奉仕を続けていけるでしょう

イザヤ 30章から以下の点についてどんなことが分かりますか

1. エホバが祈りを聞いてくださること

- S05 私たちが助けを求める時、エホバがよく聞いてくださることが分かる。また、エホバは私たちの祈りにすぐに答えてくださる。お父さんエホバが私たちをぜひとも助けたいと思っていることも分かり、私たちは喜びつつ問題を忍耐することができる。
- S07 あたかもエホバが休めないと感じるほどまでに、何度も何度も祈る必要がある。

2. エホバが導いてくださること

- S09 自分の目で偉大な教師を見るようにエホバは組織を通してはっきりとした指示を与えてくれている。私たちは、集会や大会で、また出版物や JW Broadcasting などを通して教えてもらうことができる。
- S10 私たちは聖書を読む時、いわば後ろから語り掛けるエホバの声を聞いていることになる。
- S11 聖書や組織を通して、エホバがどんなことを願っているかを学ぶことができ、学んだことをどのように実践できるかも知ることができる。喜びつつエホバへの奉仕を続けていくためには、学ぶことと実践することの両方が欠かせない。

3. エホバが素晴らしいことを行ってくださること

- S13 清い崇拜の回復についての預言は、現代でも確かに実現し、1919 年以降、大勢の人たちが大いなるバビロンから解放され、比喩的なパラダイスへと導かれてきた。
- S15 私たちはどこに住んでいるとしても、ふさわしい仕方でエホバに熱心に仕えているなら、比喩的なパラダイスにいることになる。
- S16 比喩的なパラダイスにとどまるためには、世界中に広がる会衆への感謝を深めるため、兄弟姉妹の欠点ではなく、良いところに注目する必要がある。
- S18 エホバがご自分に仕える人たちに素晴らしいことをたくさん行ってくださっていることから恩恵を十分に受けるには、聖書や出版物を学び、じっくり考える必要がある。そうするなら、クリスチャンとしての内面を磨き、会衆で兄弟愛や優しい愛情を示し合いたいという気持ちをいっそう強められる。

142 番の歌 希望をしっかりと持ち続ける

△ エホバは、ご自分に仕える人たちが毎日のいろいろな問題を喜びつつ忍耐できるよう、どのように助けてくださるでしょうか。この記事では、イザヤ 30章から 3 つの点を考えます。そうすることによって、エホバに祈ることや聖書を学ぶこと、そして現在また将来にエホバがしてくださる素晴らしいことについてじっくり考えることの大切さが学べるでしょう。

△ 語句の説明: 「比喩的なパラダイス」とは、一致のうちに安心してエホバを崇拜できる環境のことです。その中で私たちは、どのようにエホバに仕えるべきかについて正しい情報をたくさん学ぶことができます。また、王国の良い知らせについて伝える仕事をたくさん行って、充実感を味わうこともできます。さらに、エホバと親しくなり、愛する仲間と仲良く過ごすこともできます。